

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/9

問1 天武天皇が進めた政策のうち、国家の正当性を示し、天皇の権威を強化する目的で行われた事業として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。
2. 仏教の力で国家の混乱を鎮めるため、東大寺の大仏造立や全国への国分寺建立を命じた。
3. 律令制度を完成させるため、日本で最初の本格的な法律である大宝律令を制定した。
4. 新しい政治の形を整えるため、唐の長安をモデルとした平城京への遷都を断行した。

問2 飛鳥時代に推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）が、役人の政治に対する心がまえを説くために制定した法は何ですか。「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗となせ」という、人々の和を尊重し、争わないことを第一に掲げたものを選びなさい。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. 十七条の憲法
2. 五箇条の御誓文
3. 御成敗式目
4. 武家諸法度

問3 飛鳥時代、有力な豪族として聖徳太子（厩戸皇子）と協力し、仏教を広めるとともに天皇を中心とした国づくりを進めた人物はだれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 蘇我馬子
2. 蘇我入鹿
3. 蘇我稲目
4. 物部守屋

問4 7世紀初頭の飛鳥時代に建立された、現存する世界最古の木造建築物として知られる、この時代の仏教文化を代表する寺院の名称を選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 法隆寺
2. 東大寺
3. 平等院鳳凰堂
4. 延暦寺

問5 7世紀、日本は友好関係にあった百済が滅亡した際、その復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送りました。このとき、日本軍が白村江で戦い、大敗を喫した相手である二つの国の連合軍として正しいものを次の中から選びなさい。（2023年 福井公立入試 類似）

1. 唐と新羅
2. 隋と新羅
3. 唐と高句麗
4. 元と高麗

問6 飛鳥・奈良時代に行われた遣隋使や遣唐使の派遣に関して、当時の外交や国内政策の状況を正しく説明しているものはどれか。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 小野妹子などの使節を派遣し、大陸の進んだ制度を吸収して国家の仕組みを整えようとした。
2. 全国的な戸籍を作成して土地と人民を直接支配するため、中国の徴税制度をそのまま模倣して実施した。
3. 遣隋使の派遣によって得た技術を用い、聖武天皇が全国に国分寺を建てて社会の混乱を鎮めようとした。
4. 菅原道真の建議によって遣唐使を停止するまで、日本は一貫して中国に対して臣下の礼をとり続けた。

問7 7世紀後半、中大兄皇子らが中心となって行われた政治改革である「大化の改新」ののち、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い」を経て、強力な中央集権国家を目指して8世紀初頭に制定された法令を選びなさい。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 大宝律令
2. 御成敗式目
3. 武家諸法度
4. 禁中並公家諸法度

問8 701年に大宝律令が制定された際、政治の中心地として機能していた都について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、この都は現在の奈良県橿原市付近に位置しており、日本で初めての本格的な都城（街並みが整備された都）として知られています。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京
2. 聖武天皇の時代に国際色豊かな文化が栄えた平城京
3. 孝徳天皇によって難波の地に置かれ、大化の改新の舞台となった難波京
4. 桓武天皇によって遷都され、平安時代を通じて政治の中心となった平安京

問9 律令国家が戸籍を作成し、すべての人々に「口分田」を分け与える「班田収授の法」を実施した最大の目的は何ですか。当時の政治方針に深く関わる理由を説明したものを選んでください。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。
2. 地方の豪族に土地の私有を認めることで、中央政府への忠誠心を高めさせるため。
3. 農民の不満を解消するために、重い税の負担をなくして土地を自由に売買させるため。
4. 大陸との戦争に備えるため、すべての土地を軍事基地として活用しやすくするため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。	天武天皇は、壬申の乱を経て確立した自らの政権の正統性を国内外に示すため、国家の歴史編纂を命じました。これが後に『古事記』や『日本書紀』として完成します。また、この時期に「天皇」という称号や「日本」という国号が本格的に使われ始めたと考えられており、これらは中央集権体制を象徴する重要な動きとなりました。
問2	答え 1 十七条の憲法	聖徳太子は、冠位十二階の制定とともに「十七条の憲法」を定め、天皇を中心とする中央集権国家の基盤を整えようとした。この法は現在の憲法とは異なり、役人が守るべき道徳的な訓戒としての性格が強く、特に第一条で説かれた「和」の精神は、豪族間の争いを鎮める意図がありました。
問3	答え 1 蘇我馬子	蘇我馬子は、仏教の受容をめぐる対立していた物部守屋を倒し、一族の繁栄を築きました。聖徳太子とともに冠位十二階や十七条の憲法の制定に関わり、中央集権的な国家体制の基礎を作りました。選択肢にある蘇我入鹿は馬子の孫にあたり、大化の改新（乙巳の変）で滅ぼされた人物です。
問4	答え 1 法隆寺	飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたとされる寺院で、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。この時代の文化は飛鳥文化と呼ばれ、中国や朝鮮半島など大陸の技術や仏教の影響を強く受けているのが特徴です。
問5	答え 1 唐と新羅	663年、日本（倭）は百済を再興させるために軍を派遣しましたが、中国大陸を統一した唐と、朝鮮半島東部の新羅による連合軍に敗北しました。この結果、日本は朝鮮半島への影響力を失い、国内では唐などの侵攻に備えて大宰府に水城を築くなど、国防体制を急いで整えることとなりました。
問6	答え 1 小野妹子などの使節を派遣し、大陸の進んだ制度を吸収して国家の仕組みを整えようとした。	遣隋使や遣唐使は、高度な文明を持っていた中国から法律、官僚制度、仏教などの文化を吸収するために組織されました。聖武天皇による東大寺の大仏建立や国分寺の建立は奈良時代の中期であり、遣隋使の開始時期とは異なります。また、全国的な戸籍作成（庚午年籍など）は国内統治の進展を示すものですが、使節派遣の直接的な目的そのものではありません。
問7	答え 1 大宝律令	唐の律令を模範として701年に制定されたこの法令により、日本は本格的な律令国家として歩み始めました。刑法にあたる「律」と、行政法にあたる「令」が整備されたことで、天皇を中心とする中央集権的な統治体制が確立されました。
問8	答え 1 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京	藤原京は、694年から710年まで都として機能した場所です。701年の大宝律令制定時の都であり、それまでの宮殿中心の形態から、中国（唐）の都制を参考にした大規模な市街地を持つ「都城」へと進化した最初の例です。位置は現在の奈良県橿原市にあたります。
問9	答え 1 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。	大化の改新以降、政府はそれまで有力豪族が支配していた土地と人民を、国家が直接支配する「公地公民」の仕組みへと転換しようとした。口分田を与えて戸籍で管理することで、誰がどこで耕作しているかを把握し、租・庸・調などの税や防人などの兵役を課す基盤を作ることが目的でした。